キャラクター名
梢 穂乃歌

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン ソラリス	ワークス	レネゲイドビーイングC	カヴァー	
オプショナル		年齢	14歳（外見）	性別	肉体は♀
覚醒	感染	衝動	破壊	初期侵食率	35 %
出自	半身	経験	組織への所属	邂逅	師匠

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	1	0	0			1
感覚	1	0	0			1
精神	2	1	0			3
社会	4	0	0			4

HP	25
行動値	0
(非装備時)	5
戦闘移動	10
全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			ＲＣ	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志	1		調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
100↓		0				
[マイナー]オリジン：レジェンド		6				シーン中【精神】達成値+[LV×2]
[オート]援護の風+ウィンドブレス		5r+9				ダイスLv増加/固定値Lv×3増加
サイレンの魔女+アースシェイカー+流血の胞子	ＲＣ	3r+1		15		装甲無視/対象のダイス-3/邪毒1

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
ハードコート	8	2		-2	
アルティメイド服		10		-3	RC+3　購入判定で入手

合計装甲：	12	合計回避：	0

所持品	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種	P	N		
どこかの土地のご神体（レネゲイドビーイング）	P 連帯感	N 脅威		
かつての同僚	P 好奇心	N 疎外感		
シザーリオ	P 尊敬	N 劣等感		
デュアルカラミティ	P 好奇心	N 恐怖		
中村メジロ	P 尊敬	N 劣等感		
不知火 帝	P 信頼	N 嫉妬		

最大財産P: 8	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
ヒューマンズネイバー	1		常時	至近	自身	自動	RB	
効果：衝動判定ダイス+Lv								
オリジン：レジェンド	3	2	マイナー	至近	自身	自動	RB	
効果：シーン中【精神】達成値+[LV×2]								
サイレンの魔女	5	5	メジャー	視界	シーン選択	RC		
効果：攻撃力+[Lv×3]装甲無視								
アースシェイカー	3	2	メジャー	視界		RC		
効果：シーン中対象のダイス-Lv								
流血の胞子	1	2	メジャー	視界		RC		
効果：邪毒Lvを与える								
援護の風	5	2	オート	視界	単体	自動		
効果：ダイス+Lv　ラウンド1回								
ウィンドブレス	3	2	オート	視界	単体	自動	リミット	
効果：<<援護の風>>を使用した判定の達成値+[LV×3]								
オーバードーズ	1	4	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ			ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ	100%	
効果：組み合わせたエフェクト全てのLvを+2　シナリオLv回								
フラットシフト	★		ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ				Dロイス	
効果：上昇浸食率を0にする								
軽功	★		常時	至近	自身	自動		
効果：身軽								
高濃度酸素バブル	★		メジャー	至近	範囲（選択）	自動		
効果：酸素で満たされた空間を作る								
効果：								
効果：								

UGNチルドレンの肉体に寄生し主導権を握っている、（自称）協力型レネゲイドビーイング。
明るく陽気で大雑把な性格。"綺麗な音"が好きで、人間の『音楽』や『歌』という文化に大きな関心を持ち、自らも歌うようになった。
「梢 穂乃歌（こずえ ほのか）」はチルドレンの方の名前で、「キャロル」は現在表に立っているレネゲイドビーイングの方のコードネーム。
梢の意志が表に出ることは滅多にないが、消えているわけではないらしく、ごくまれに出てくる。引っ込み思案でおとなしい性格。

ある土地で信仰対象となっているレネゲイドビーイングから分かれた端末。
昔、本体であるレネゲイドビーイングの祀られている地でオーヴァードに関する事件が発生、付近で起きた戦闘によりUGNチルドレンが致命傷を負い、自身の能力では再生不可能の状態になっていた。それを（勝手に）自分の因子を埋め込み再生させ別個体のレネゲイドビーイングとして利用。ヒトとの意思疎通や自力で移動することができない本体の代わりに、『外の世界を見るため』『ヒトを知るため』に活動を開始させた。
事件当時、宿主となったチルドレンは死体こそ発見されなかったものの、戦闘により死亡したものと思われていた。しかし、各地支部でちらほらと目撃報告が上がり、数年後に現在活動の中心地としているUGN支部を来訪。ことのあらましをざっくりと説明した後、UGNへの協力姿勢を示したため、現在は監視下に置かれながらもイリーガルに近い形で生活している。
チルドレンやイリーガル達の中には宿主と知人だった者もいるが、キャロル本人が隠す気が無いことと性格がまるで違うせいで関係は微妙。
現在、一度死の淵に立った弊害からなのか、或いは何か阻害するものがあるのか、肉体側の意識が目覚めることはあまりない。
本体と端末とは別個体で、キャロルにはキャロルの意志があるが、見聞きした物事は全て本体へも届いている。彼女（或いは彼）の主な行動指針は『本体の知識欲・探究心を満たすこと』で、意識的にはイコールで結んでいるところが大きい。

当人曰く、自分は4番目に分かたれた存在なのだそうで、そのことから一部のデータベースでは第四の贈り物（The fourth enemy）と記載されたり、呼ばれたりしているらしい。